

NPO 法人環境パートナーシップいわて

平成 26 年度「緑のカーテンプロジェクトいわて」活動報告

平成 27 年 3 月 31 日

◇はじめに

3 1 1 三陸大津波の平成 2 3 年、JAXA より提供を受けた「宇宙を旅したアサガオ種子」二代目を育て被災地の仮設住宅の住環境に少しでも潤いを提供しようと岩手県立大学総合政策学部平塚明教授・小岩井農牧(株)小岩井農場などを中心にプロジェクトが発足した。NPO 法人環境パートナーシップいわての提案事業として採択され、NPO 法人日本ビオトープ協会の支援を得て震災直後から活動が開始された。2 年目からは NPO 法人緑のカーテン応援団（東京）からの資金とゴーヤ苗の提供を受け、その設置範囲を広げてきました。

3 1 1 からの時間経過とともに住民の要望も変化し、最初に設置した釜石市内の中妻町仮設住宅団地や小佐野仮設住宅団地は設置を取りやめ、本年新たに、陸前高田市の仮設住宅などに提供、また大槌町復興公営住宅団地・公立小学校・公立幼稚園・公営の資料館へも提供し広く市民に啓蒙することと致しました。



(釜石市立鶴住居仮設幼稚園ゴーヤの収穫・写真佐藤順子園長さん提供)

◇平成26年度設置場所及び対象住宅戸数：

| | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 大槌町復興公営住宅団地（大ケ口） | 74戸（新規） |
| 2. 大槌町小槌仮設住宅団地 | 100戸 |
| 3. 大槌町小槌第7仮設住宅団地 | 40戸 |
| 4. 大槌町小槌第8仮設住宅団地 | 60戸 |
| 5. 釜石市箱崎町白浜仮設住宅団地 | 21戸（新規） |
| 6. 釜石市立鶴住居小学校 | （新規） |
| 7. 釜石市立鶴住居幼稚園 | （新規） |
| 8. 釜石市立民俗資料館 | （新規） |
| 9. 野田村中学校仮設住宅団地 | 128戸 |
| 10. 陸前高田市高田高校仮設住宅団地 | 148戸（新規） |
| 11. 陸前高田市和野仮設住宅団地 | 17戸（新規） |
| 12. 陸前高田市西風道仮設住宅団地 | 35戸（新規） |
| 13. 陸前高田市大隅西仮設住宅団地 | 12戸（新規） |
| 14. 陸前高田市みなし仮設住宅ほか | 11戸（新規） |
| （対象住宅戸数） | （646戸・うち希望者に設置） |

◇ 支援団体など：

NPO 法人緑のカーテン応援団・NPO 法人日本ビオトープ協会・岩手県立大学総合政策学部《平塚明教室・渋谷晃太郎教室》・NPO 法人遠野まごころネット（大槌）・あさがおネットワーク釜石・ちーむ麻の葉陸前高田・小岩井農場

◇活動支援（ご寄附）パートナー：

| | |
|--------------------|--------------------|
| 1. NPO 法人緑のカーテン応援団 | （資金・ゴーヤ苗提供） |
| 2. NPO 法人日本ビオトープ協会 | （資金提供） |
| 3. 岩手県立大学総合政策学部 | （アサガオ苗生産・提供） |
| 4. あさがおネットワーク・釜石 | （ボランティア労力） |
| 5. 遠野まごころネット・大槌 | （ボランティア労力・プランター提供） |
| 6. 私立鶴住居小学校 | （プランター提供） |
| 7. 小岩井農場 | （トラック・ワゴン車提供） |

◇主要な活動：

- 3/26 緑のカーテン応援団谷田泰氏来県、新年度の取り組みについてm t g
谷田氏・渋谷先生・佐々木副代表・野澤
- 4/17~19 県立大学・支援先など現地打合せ
- 4/23~24 県立大学へ苗生産用資材（苗運搬用トレー含む）

- 及びアサガオ種子約 5,000 粒搬入・アサガオ苗生産に絶大な協力を頂く
- 4/27/28 現地設置詳細打合せ・確定（釜石・鶴住居・箱崎・大槌）
- 5/8 緑のカーテン応援団（谷田副理事長）ゴーヤ苗手配（1,162 ポット）6/5 着
- ・大槌地域 ゴーヤ苗 994 ポット
 - ・釜石地域 ゴーヤ苗 126 ポット（箱崎白浜仮設ほか）
 - ・野田村 ゴーヤ苗 42 ポット（野田中学校仮設）
- 6/6 大槌・釜石（鶴住居小学校・幼稚園・箱崎）へ 堆肥 80 袋配送
培養土・プランター・カーテンネット（3.6m×3.0m）・固定櫛など
- 6/7 釜石（鶴住居小学校・幼稚園・箱崎）・大槌大ケロ公営住宅へアサガオ苗及び必要資材配送設置作業
- 6/9 あさがおネットワーク（加藤直子代表）協力による鶴住居小学校・鶴住居幼稚園
花苗植栽等 実施
- 6/14 釜石市民俗資料館へ設置（3.6m×3.0m ネット・プランターほか資材）
- 6/15 陸前高田市“チーム麻の葉”へゴーヤ苗・アサガオ苗ほか提供
- 6/17 釜石市民俗資料館苗植え替え・箱崎白浜に追加有機堆肥提供
・・・随時生育状況訪問観察、必要に応じて追肥・殺虫処理

◇使用資材：

| | |
|---------------------|-------------------|
| ・ポット用培土（40 l） | 7 袋 |
| ・ポリポット（6 cm） | 1,200 個 |
| ・再生コンテナ（MB-40）苗輸送用 | 15 個 |
| ・ネット固定プラ杭（小 27 cm） | 232 個 |
| ・有機堆肥（ファームエコー40 l） | 85 袋 |
| ・カーテンネット（3.6m×3.0m） | 74 個 |
| ・培養土（25 l） | 200 袋 |
| ・花苗 | 150 ポット |
| ・深型野菜用プランター | 16 個 |
| ・アサガオ苗 | 1,120 本（コンテナ14 個） |
| ・ゴーヤ苗 | 1,162 本 |

◇その他費用関係：

- ・打合せ・運搬・設置作業など ・4/19 ・4/27 ・5/6 ・5/15 ・5/26 ・6/6
・6/7 ・6/13 ・6/14 ・6/15 ・6/17
- ・ボランティア等稼働延べ人数 約 95 名
（アサガオネットワーク：20 ・箱崎仮設：15 ・大ケロ：15 ・大槌仮設：30
・釜石：5 ・野田：5 ・陸高 5）

◇総括：

本年度も NPO 法人緑のカーテンプロジェクト・NPO 法人日本ビオトープ協会からの主たる資金協力（寄付）によって被災地への緑のカーテン提供の活動が行われた。当初設置の仮設住宅では経年と共に仮設を出て行く人が増え、住人の緑のカーテン設置における協力体制や住民意識は低下傾向にあり一層心の支えが必要となり、今後新たな展開が望まれる。

一方、将来を担う子供たちの自然・環境教育のツールとしての活用や復興住宅での遮熱対策や心の潤い、コミュニケーションの切っ掛けとしての緑のカーテン支援は今後も重要な活動となる。また、これを機に被災していない家庭への啓蒙も機会を取らえて行ってゆく事も「出来る所から省エネ」の一步となると思料しています。

ご協力下さいました多くのパートナーに心からの感謝を申し上げます。

緑のカーテンプロジェクトいわて

代表 野澤 日出夫

(NPO 法人環境パートナーシップいわて代表理事

・小岩井農牧(株)特別常任顧問)

副代表 平塚 明

(岩手県立大学総合政策学部教授)